

日本文化の魔術

「ユーアイ・スピリット」は共生の合言葉



Magical Power of
Japanese Culture

著 長谷川勝行 (日本文化の語り部)

プロローグ

世界の多くの人々は、価値観の違いや人々の偏見によって、やがて何か悪いことが起こり、戦争に巻き込まれるのではないかと感じているのではないのでしょうか。どんな場合でも戦争は避けなければなりません。私の父は第二次世界大戦で亡くなり、私の家族は貧しい生活を経験し、悲惨な人々を目の当たりにしました。

戦争扇動者とそれを支持した人々の責任は重大です。彼らがその行為を悔い改めても、犠牲者の人生は決して元に戻りません。高い倫理観と思いやりの心を持つ日本人でさえ、扇動者のプロパガンダに騙されました。私たちはこのプロパガンダにどのように対処すべきなのでしょう。

世界の公正な共生社会を構築するためには、世界の真実を直視し、世界の構造と人間の本質を見直す必要があります。この小冊子は、世界に広めたい日本の生活文化を解説したものです。その解決策を日本文化から見出していただければ幸いです。

日本人は、人も自然の一部との意識を持ち自然と共生してきました。そして自然の恵みに感謝し、他人を思いやる気持ちは発達しました。この発想をベースにして言語、文化が生まれ、進化を続け今日に至っています。「和」を何よりも大切にする日本文化には世界の人々が共鳴できる術があると信じます。

日本文化の根底にある「思いやり」は共生の精神です。言い換えれば、「**You-I spirit**」です。つまり、「あなたのおかげで、私がいる」というように人や物を敬い、寄り添う精神と言えます。奇しくも「You-I」の(音)響きは日本語の「**友愛**」と同じです。

目次

1. どの国が次の世界のリーダーにふさわしいですか？

- ・世界のリーダーに求められるものは？ P4
- ・日本人は何に価値を置いているのか P5
- ・日本は近世の世界でどんなふるまいをしたのか P6
- ・日本は軍事大国から平和大国に変わったのか P7
- ・日本はなぜG7のメンバーなのか P8

2. 日本の生活文化の特徴

- ・日本文化のキーワードは何か P10
- ・「空気を読む」とは、どういう意味か P11
- ・日本人はなぜ相手にストレートに言わないのか P12
- ・日本人はなぜ業績をあげたとき最初に関係者へ感謝するのか P13
- ・日本人は弱者をどのように見ているのか P14

3. 称賛された日本文化スピリット

- ・日露戦争の司令官一乃木希典 P16
- ・多数のユダヤ人の命を救った外交官一杉原千畝 P17
- ・語られなかった海上戦の武士道 P18
- ・島民と日本兵の絆 P19
- ・日本の戦後を変えた天皇の発言 P20

4. 文化遺産としての日本語

- ・日本語自体が日本文化なのか P22
- ・日本語のユニークな点は何か P23
- ・日本語はどのように発展してきたのか P24
- ・日本語はなぜアートと見られるのか P25
- ・「You-I スピリット」とはどういう意味か P26

Chapter 1

**どの国が次の世界のリーダー
にふさわしいですか？**

世界のリーダーに求められるものは？



現在、経済力と軍事力が世界の大国と考えられています。そのような国々は他の国々から尊敬されているでしょうか。世界の多くの学者や知識人は、これから世界のリーダーになるには文化力が最も影響力を持つと見ています。そして、日本が世界のリーダーとなり、日本の生活文化が世界の標準モデルになると言います。

日本の評価されている生活文化には、多くの人が集まるところでは行列に並ぶ秩序、子供や女性が一人で外を歩けるような治安、災害が起きたときに店から盗みをしないう、あるいは財布やバッグを見つけたときに警察や関係施設に届けるモラル、道路やトイレの清潔さなどがあります。

日本人は全体の利益を第一に考える

多くの調査によると、日本は観光客が最も訪れたい国です。美しい景色、史跡、おいしい食べ物など、観光資源がたくさんあります。中でも観光客が最も感動するのは、日本人の親切と温かさです。

多くの国では個人の権利が優先されますが、日本人はみんな利益を分かち合える公共性の方が重要だと考え、個人の権利を優先する人は利己的だとみなされます。日本人は常に他人の心を思いやります。この点で、日本は社会主義国のようですが、民主主義国で、何でも自由に発言できます。

日本人は何に価値を置いているのですか？



日本人は個人の利益よりも公益を重視します。言い換えれば、日本社会は伝統的な共生精神で成り立っており、それは生活環境の中で育まれてきました。日本は海に囲まれた山地が多い列島国家です。

日本人は自然と共存してきました。自然の恵みに感謝し、山、川、海、森などの自然界の創造物を神として崇めました。その思想と行為は日本の伝統的なアニミズム宗教とされる「神道」へと発展しました。

共生精神を育んだ農作業

古代、稲作が全国に広まりました。米の生産量を増やすには、共同作業が欠かせません。当然、人々は他人を気遣い、協力的な姿勢を示します。その姿勢がなごやかな雰囲気を生み、目標達成につながりました。日本人のチームワークの良さは、様々な分野で見られます。

今日の日本人の共生意識や考え方、さらには日本文化や日本語を含めた文化の背景には歴史に根づいた日本人の心があると言えるでしょう。日本は世界で最も長い歴史を持ち、他国（民族）に征服されたことがありません。この事実も影響しているのかもしれませんが。

日本は近世の世界でどんなふるまいをしたのですか？



古代から20世紀にかけて、世界はパワーゲームに明け暮れ、西洋諸国を中心とする強国が低開発国から搾取していました。近世には、日本は西洋からの侵略と植民地化の危機にさらされました。日本は欧米諸国のように近代化しようと立ち上がり、経済力と軍事力を強化しました。

その時代、強国が未熟な国家を植民地として支配し、その国民をコントロールすることは当然とされました。日本では軍国主義が台頭し、アジアでの領土拡大に野心を抱くようになります。そして、朝鮮半島の権益をめぐる当時の中国、ロシアと対立し、戦争に発展します。その結果、日本は日清戦争、日露戦争に勝利しました。

アジアの転換点となった日本の侵攻

やがて日本は、アジアで唯一の大国とみなされるようになりました。一方、アジア諸国は搾取国家からの独立を望んでいました。日本軍はアジアの人々の感情を利用します。日本はアジアの救世主をよそおい、次第にアジアで傲慢なふるまいをするようになりました。

アジア諸国を植民地化した西洋の強国は日本のアジア進出に反対し、第2次世界大戦へと発展しました。日本は敗戦し、その結果、日本は世界平和を求める国になる、また多くのアジア諸国が独立するチャンスを得る転機となりました。

日本は軍事大国から平和 大国に変わったのです か？



第二次世界大戦の敗戦後、日本は平和国家へと外交方針を転換しました。現在、日本の憲法には、日本は、軍隊の保持、武力によって紛争を解決することを永久に放棄すると書かれています。また、政府は核兵器の保有と使用の禁止を宣言しています。

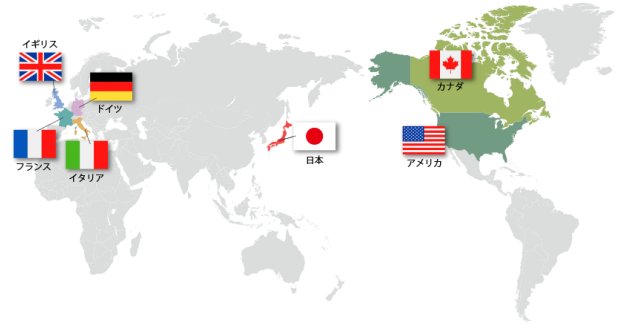
日本は戦後、平和を愛する国として行動してきましたが、自国の失態を隠すために、いまだに日本を軍事国家、悪の国家と批判する国もあります。低開発国から搾取してきた強国は、今度は民主的な方法で低開発国と正常な関係を持ちたがっていますが、これらの国々は彼らの過去の行為により慎重になっています。

どうすれば共生社会を実現できるかを考えませんか

強国の過去のふるまいが不信の原因になっているようです。私たちは21世紀の世界に生きています。彼らの子孫を非難し続けるだけでは好転しません。私たちは世界平和への道を模索すべきです。

現在の世界の指導者のほとんどは、政治家の仮面をかぶった暴力団のようです。彼らは、安っぽい野心を満たすためグループのメンバーとともに国の資産や国民を利用してきます。自分たちの欲望のために犠牲者のことなど気にも留めません。さらに悪いことに、国民は政治に無関心で、無知ゆえに彼らを支持する人さえ多くいます。

日本はなぜG7のメンバーなのですか？



G7とは、先進民主主義諸国による政治・経済の政府間フォーラム「グループ・オブ・セブン」のことです。第二次世界大戦での敗戦後、日本はアメリカに追随し、国家の防衛はアメリカに任せ、全滅した国土の復興に専念しました。

その結果、日本経済は奇跡的な成長を遂げ、戦後わずか13年後の1968年には、日本のGDPはアメリカに次いで第2位となり、成長を続けました。日本人は "エコノミック・アニマル" といわれ、アメリカの著名な経済学者の著書『ジャパン・アズ・ナンバー・ワン』がベストセラーになりました。

経済大国から平和な文化大国へ

経済大国として成長を続けたため、アメリカを中心としたジャパン・バッシングが80年代をピークに始まりました。その結果、日本の成長は止まり、42年間続いた日本のGDPは第2位から転落したのです。しかし、日本は世界の人々から民主主義の先進国であり、平和な文化国家と評価され、G7国のメンバーは続いています。

今、日本の文化、特にマンガ、アニメ、ゲームなどのサブカルチャーは、高品質なメイド・イン・ジャパンの製品とともに世界で受け入れられています。一方、日本のマナーや習慣などの生活文化も高く評価されています。日本への観光客が増え続けていることが、それを証明しています。

Chapter 2

日本の生活文化の特徴

■ 日本文化のキーワードは 何ですか？



すべての日本文化の根底にあるのは、他者への思いやりといえるでしょう。日本人は相手の気持ちを思いやることを最も大切にします。相手を傷つけたり、困らせたりしないように話します。例えば、道で人にぶつかったら、「ごめんなさい」と言い、相手も文句を言わずに「ごめんなさい」と言うでしょう。

たとえ自分がミスをして相手に損害を与えたとしても、そのミスを心から謝罪すれば、相手は責めたり賠償を求めたりしないでしょう。日本人にとって大切なのは、賠償金よりも誠意です。自分の過ちを認めて誠意を示せば示すほど、賠償金は少なくなるでしょう。

自分の過ちに言い訳することは醜いと見られる

責任逃れの言い訳をすると、日本人には醜い人間と受け取られます。このような考え方は、武士道（侍の規範）の影響かもしれません。過ちを言い訳することは醜く、恥ずべきこととされてきました。そのため、武士は切腹（責任を取り、自らの腹を切って不名誉をつぐなう）さえしました。その行為は、尊敬され、称賛されました。

日本人は、人生を花のように移ろいゆくものととらえ、滅びゆくもののさだめに哀れさと美を見出します。この思想はありのままを受け入れ、人間も自然の一部と考える禅や神道の影響も受けているともいえるでしょう。日本文化の背景には、これらが反映されています。

「空気を読む」とは、どういう意味ですか？



日本語では「空気を読む」と言います。日本人は集団の和を重んじます。そのため、日本人は集団の流れに沿って行動したり、話したりする傾向があります。もしあなたが、自分の発言や行為を優先すれば、利己的な卑しい人だと思われるでしょう。

これは日本人の集団の中での典型的な姿勢で、集団からはずれることを恐れます。ほとんどの日本人は、自分が全体の一部であると考え、集団の中にいると心がやすらぎます。そのため、日本人は公共の秩序を守るため、道やトイレの清掃、街の安全に協力します。「集団」は「社会」や「世界」と置き換えられます。

日本人の視点に基づくその他の文化

日本人の視点は、郵便物の宛名の書き方に視覚的に表れています。多くの西洋諸国では、名前、通り、地域名...国の順で書きますが、日本では、国名、地域名...名前の順で書きます。これは、個人が社会の一部であること、また日本人の謙虚さ、共生の精神が育まれてきたことを示していると言えるでしょう。

お客様をもてなすホスピタリティもまた、よく知られた日本文化です。これも相手への思いやりが基本にあります。客が要求する前に用意するのがベストとされます。例えば、お客様が「今日は暑いですね」とおっしゃったら、ホストはお客様が飲み物を欲しがっているかもしれないと気づき、お出しします。

日本人はなぜ相手にストレートに言わないのですか？



こうした日本人の態度は、外国人から批判されてきました。日本人はそれを自覚してきました。1989年、元東京都知事とソニー(株)会長の共著『NOと言える日本人』がベストセラーになりました。日本人はいまだにはっきりと「ノー」ということをためらいます。それはなぜなのか。

日本人の基本姿勢は、和を重んじ、他人を傷つけない話し方をする日本文化によって形成されています。話しかけられた人はその配慮を感じ、言葉の奥にあるポイントに気づきます。この話し方は常識とされ、今も実践されています。

「大人の対応」は争いを緩和する

日本では相手を興奮させないように間接的に言葉を伝えるのが一般的ですが、国際舞台では通じません。日本の発言が曖昧で不十分だとして、日本を攻撃したり批判したりする国もあります。日本は通常、彼らの主張に対してあまり言い訳をしません。日本人は反論すればするほど、相手を興奮させると考えます。

このような態度を日本語で「大人の対応」と言います。相手の誤解に反応しないで、日本人は相手が落ち着くまで待つという態度をとります。この文化が世界に広がれば、国際紛争は減るはずです。この日本文化をあなたは支持しますか？

日本人はなぜ業績をあげたとき最初に支援者へ感謝するのか？



日本のアスリートたちが偉業を達成したとき、まずコーチや家族など長い間支えてくれたすべての人に感謝するのをよく目にするでしょう。これは、支援者への敬意を表す言葉ではありません。本当にそう思っているのです。日本語には日常的に使われる「おかげさまで」という言葉があります。

日本人は集団行動、特にチームスポーツでは普段以上に力を発揮し、チームのために良い結果を残そうとします。これは日本人の考え方から来ているのかもしれませんが、一人一人が敗因にならず、勝利に貢献しようとしています。これも日本人の他人を思いやる文化に通じています。

日本人は敗者の心情を思いやる

相撲や柔道などの日本の伝統武道では、それが最も顕著に表れます。日本の武道では、敗者の心情を考えて、勝者が笑顔や勝利のボディアクションで喜びを見せないことが、当然のマナーとなっています。外国人の中には自然な行為として喜びを表現する人もいますが、それは配慮がないとみなされます。

日本の武道では日本人は勝利に慢心する勝者、特に闘志に欠け、ルールでは違反とされなくとも狡猾なテクニックを使う勝者を尊敬しません。日本人は一般的に控えめな国民として世界的に評判が高く、控えめで思慮深い人を好みます。

日本人は弱者をどのよう に見ているのか？



日本人は真剣に戦った敗者に同情し、寄り添います。中世、武将の義経は敵対する勢力を滅ぼし英雄となり、兄の頼朝が初代の将軍となりました。しかし頼朝は、義経の戦術と名声が頼朝の部下との和を乱すとして、義経を追放し、死へと追いやります。

この悲劇的な物語は、何度も演劇や映画となりました。それらは日本人の感情や道徳観に沿って作られました。頼朝のリーダーとしての決断は理解できても、逃亡者となった義経に同情が集まり、「判官ひいき」（義経、つまり弱者をひいきにする）という言葉も生まれした。

日本人は公平な判断を尊重する

日本語には「喧嘩両成敗」（双方に紛争の原因がある）という言葉があります。この考えは武士時代の争いに適用され、現在でも喧嘩の解決手段として使われています。日本人はどちらか一方に肩入れすることを不公平と感じ、双方の顔がたつ引き分け的な決着を好みます。

日本は共感と公正の国といえます。日本人は同じような価値観を持っているので、対立する相手の考えも尊重できます。また、契約書の文言にかかわらず、相手の立場を考えて妥協することも考えられます。そのため、日本での裁判の件数は他国に比べて非常に少ないのです。

Chapter 3

称賛された 日本文化スピリット

日露戦争の司令官

--乃木希典



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

日本が西洋の強国のように大陸に侵攻を始めた時、当時のロシアは同じ地域に領土を拡大しようと野心を抱き、日本に干渉してきました。その結果、1904年に朝鮮半島の権益をめぐる日露戦争が起こりました。激戦の末、世界の予想に反して日本は勝利したのです。

日本兵は歓喜に沸いていましたが、乃木は敗者のロシア軍司令官ステュッセルの心情を思い、友として接し、酒を酌み交わし終戦を祝いました。これが武士道精神で、日本人の相手を思いやる文化です。このような戦時中の話はたくさんあります。

天皇に忠義を尽くし、神として祀られた乃木

乃木は明治天皇の崩御に伴い、妻とともに自決しました。乃木は、自分の過ちの責任を感じていて後追い自殺したといわれています。かつて内戦で天皇を支える新政府軍部隊の隊長でした。軍旗を管理する立場でしたが、その軍旗を略奪されてしまいました。

当時、天皇は現人神とされ、明治天皇は明治維新（近代化）の象徴で、死後に明治神宮が東京に建てられ祀られています。侍は忠義のために死ぬべしという武士道的思想に沿うことが美德とされ、乃木の行為は忠義の表れとされました。乃木神社も建てられ、神として祀られました。

■ 多数のユダヤ人の命を 救った外交官

--杉原千畝



ナチスによるヨーロッパ占領下、多くのユダヤ人が中立国とみなされていたリトアニアに逃れました。しかし、1940年には親ソ連政権が誕生し、ソ連との合併は時間の問題でした。併合されれば、第三国に逃れるチャンスはなくなります。

彼らに唯一の逃げ道がありました。それは日本の通過ビザを取得することでした。当時、日本はドイツ、イタリアと同盟を結ぶ予定でした。杉原は日本の外務省にビザ発行の許可を求めましたが、断られました。

「私はやるべきことをやっただけです」

杉原は一人でビザを発行することを決めましたが、それは非常に危険な決断でした。杉原はそれから毎日、殺到するユダヤ人のために懸命にビザを発行しました。やがてリトアニアはソ連と合併し、日本領事館は閉鎖されました。しかし、杉原はホテルでビザの代わりとなる旅行証明書を発行し続けました。

杉原は6,000人以上のユダヤ人を救いましたが、帰国後に退職を余儀なくされたといわれています。1985年、彼はイスラエル政府から「諸国民の中の正義の人」に認定されました。杉原はこう言いました。「新聞やテレビが騒ぐようなことではありません。私はやるべきことをやっただけです」。

語られなかった海上戦の 武士道



第二次世界大戦中、日本はアメリカやイギリスなどの国と戦っていました。日本軍はインドネシア沖で激戦を繰り広げていました。イギリスの軍艦エンカウンター号が沈没し、兵士たちは海に飛び込みました。岸から遠く離れ、疲れ果てた兵士たちはやがて溺れ始めました。

それからしばらくして、遠くに船を発見し、兵士たちは救出の望みを抱きました。しかし、彼らの希望はすぐに絶望に変わりました。近づいてきた船は、日本軍の軍艦「いかづち」でした。イギリス兵たちは死を覚悟します。しかし驚いたことに、船から何本ものロープが投げられたのです。

公表されなかった真実

日本兵の中には工藤大尉のこの命令を批判する者もいましたが、工藤大尉は「弱った敵を助けに来ないのはフェアな戦いではない。これは武士道だ」と叫びました。400人以上の英兵が救出されました。報告を受けた将軍は「お前は間違っていない。しかし、公表されれば、裏切り者のレッテルを貼られる」と言い、真実は隠されました。

1971年、昭和天皇が英国を訪問した際、戦争に対する謝罪が強く求められ、批判を浴びました。その時、エンカウンター号から救出された英国の外交官サミュエル・ファレが、その時の体験を『タイム』誌に寄稿しました。その後、英国の批判は静まりました。

島民と日本兵の絆



第二次世界大戦末期、フィリピンに近いパラオのペリリュー島には12,000人の日本兵が駐留していました。日本は島のインフラを整備し、島民と日本兵の関係は非常に友好的でした。1944年、最新の近代兵器を装備した42,000人のアメリカ軍が近づいてきました。

島民たちは、日本軍の指揮官である中川大佐に、自分たちの島を守るために日本軍とともに戦うという決意を伝えました。しかし、中川大佐はこれに怒り、「強力な帝国陸軍が一介の原住民と一緒に戦うとでも思っているのか」と言い、島を去るように告げました。

米国軍提督が称えた日本人の侍スピリット

島民は、日本兵が自分たちを対等な人間だと思っていなかったことを思い知りました。島民が他の島へ避難する日、兵士は一人も見送りに来ませんでした。しかし、船が岸を離れると、日本兵全員が浜辺に現れ、手を振りました。その中には大佐もいて、島民たちは大佐が自分たちを救うためにあのように言ったのだと悟りました。

やがて激戦が73日間も続きました。アメリカのニミッツ提督は、上陸作戦で最も大きな損害を被ったと述べ、島の記念碑にこのような言葉を記しています：この島への訪問者は、島を守るために全員が玉砕するまで戦った日本兵が、いかに勇敢で愛国的であったかを知るべきである。

日本の戦後を変えた天皇 の発言



日本は第二次世界大戦に敗れ、昭和天皇はA級戦犯として裁かれることになっていました。昭和天皇と日本の占領軍トップのマッカーサー元帥は会談します。マッカーサーは、昭和天皇が戦争の言い訳をし、命乞いをするだろうと思っていました。

天皇は「私の命については裁判の決定に従いますが、日本再建のために国民にお力をお貸してください」と言ったと伝えられています。マッカーサーはその意外な発言と態度に感動しました。その一方で、戦争関係者は誰も天皇を責めておらず、逆に天皇をこのような状況に追い込んでしまったことを悔いているという話も聞いています。

天皇の権威を利用したマッカーサー

日本の天皇は同じ一族で1500年以上も続いてきた最高権威者であり、日本は世界で最も長く続く朝廷と認められています。戦前、天皇は現人神とされ、神聖な存在でした。現在、天皇は日本人の象徴となり、政治には関与していません。

マッカーサーは天皇に関する戦後の調査で、いまだに日本人の90%あまりが天皇制を支持していることを知りました。天皇を追及すれば日本人が蜂起するかもしれないと恐れ、代わりに天皇の力を日本再建のために利用しました。それは成功し、日本は奇跡的な復興を遂げ経済大国となりました。

Chapter 4

文化遺産としての日本語

日本語自体が日本文化なのか？



言葉はコンピュータのOSのようなもので、文化は人の心や価値観を理解するためのソフトウェアであると私は考えています。日本語はすべての日本文化のベースです。日本語の特質は、日本人の思慮深さに基づく表現と構造にあるといえます。

「お世話なっています」「よろしく申し上げます」「お疲れさま」など、日本語にはよく使われるユニークなフレーズがたくさんあります。これらは相手に対する思いやりの表現で、日本人の心の反映です。良い人間関係を保つのに役立ちます。

日本語のベースは思いやり

日本語では、主語が省略されることが多いです。文脈から聞き手が理解できる時の他、話し手が強い印象を意図的に避けたいときに省略されます。日本人は相手の心を読みます。日本語に敬語があるのをご存知でしょう。年配の人、目上の人、お客さん、見知らぬ人などに敬意を表す言葉です。

日本語にはさまざまな表現や単語があり、異なる人に対して、関係を考慮して使い分けます。相手によって最も適切な言葉を選ぶのです。日本語を他者への思いやりを基調とする日本文化のOSと捉えるならば、そこに日本文化の繊細な原点を見出せるでしょう。

日本語のユニークな点は何か？



日本の歴史は、約1万3000年前頃に始まったとされる縄文時代から始まります。豊かな食物とともに縄文時代は1万年以上も平和が続きました。彼らは原語とされる大和言葉でコミュニケーションをとり、自然と共生してきました。

大和言葉は、母音を中心として発達し、話し言葉には「言霊（ことだま）」が宿ると信じられ、文字はありませんでした。古代では主に約束事に文字が作られたが、日本ではお互いに信頼し合っていたので必要なかったという説もあります。

日本人は外国文化を日本スタイルに進化させる？

日本は島国であった日本人は異文化に興味津々で、中国から漢字を取り入れました。まず、漢字の読みを日本語の近い音にあて、日本語の読み文字として利用します。そして、より簡単な表記文字のひらがなやカタカナをつくりました。

日本語には同音異義の言葉がたくさんあります。それで次に日本語の言葉の意味を明確にするために、同じ意味を持つ日本語に漢字を使いました。西洋の言葉も取り入れ、カタカナで表記しました。

日本語はどのように発展してきたのか？



日本人は自然と共生し、その音を言葉として取り入れてきました。今ではオノマトペと呼ばれ、世界で最も多いと言われています。それは外来語を取り入れる上での下地となり、日本語の進化につながったのかもしれませんが。

日本語では以前は縦書き（上から下へ）でしたが、今日では横書き（左から右へ）もあり、4種類の文字（ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット）が使われています。単語も豊富にあります。そのため、自身の気持ちを繊細なニュアンスで相手に伝えることができ、良好な人間関係を保つことができます。

日本語は繊細なニュアンスも表現できる

昨今はパソコンがコミュニケーションに使われるようになりました。そこで、書き手の感情を表現できる絵文字（アイコン文字）が日本で作られ、世界中に広まり使われています。19世紀後半以降に西洋の文化や概念が日本に伝わった際にも、日本人は多くの新しい漢字を生み出しました。

それらは今日の中国でも使われています。外国人の中には、日本人はあいづちを打ち過ぎだと言う人もいますが、それは話手に寄り添って聞いている姿勢の表れです。これで日本語そのものも文化であることがお分かりいただけたでしょう。

日本語自体がなぜアートと見られるのか？



アルファベットで単語を作ってから音が決まる英語と違い、日本語の単語はいくつかの文字（音）を組み合わせて作られます。それぞれの文字は1つの音しかありません。例えば、桜（チェリーブロッサムズ）。英語でどう発音するかは、文字全体を知らないとわかりません。

しかし、日本語では "さ・く・ら" と一字（音）一字（音）を区切って読んだり書いたりできます。英語では文章の数を単語で数えますが、日本語では文字で数えます。日本語では5文字や7文字の集まりが最も美しく聞こえます。日本語の詩は、このパターンを使って芸術として発展してきました。

二つのタイプの日本語言葉アート

一つは5・7・5の俳句。例えば、「散る桜」（ち・る・さ・く・ら）、「残る桜も」（の・こ・る・さ・く・ら・も）、「散る桜」（ち・る・さ・く・ら）。もう一つは、5・7・5・7・7の短歌です。美しい自然や儂い命などに対する感情や印象をこれらの形式で詠んできました。

他にも日本語に関するアート活動があります。多くの学校で書道の授業がカリキュラムに組み込まれています。他にカードゲーム。「百人一首」は100名人の優れた短歌が書かれたカードを獲得する競技で、全国高校選手権が毎年開催されています。もう一つのカードゲームの「カルタ」にはことわざが書かれていて、正月の伝統的な家族行事の一つです。

「You-I スピリット」 とはどういう意味か？



世界の多くの庶民は「自国第一主義」あるいは「自分第一主義」を支持しています。それは正しい判断なのでしょうか？自分の生存を最重視するのは理解できます。しかし、あなたが沈没船に乗っていれば、食べ物を分け合い、他の乗客と協力して沈没を食い止めるでしょう。これが多くの日本人の暗黙のコンセンサスです。

日本人は自分も社会の一部で、他者と共生していると考えます。だから、常に他人の目を気にし、"お先にどうぞ、" "あなたに寄り添います"という気持ちで行動します。このような態度は、謙虚、思いやり、おもてなしなどの日本文化に見られます。外国文化を受け入れるために、自分たちの伝統を調整することさえあります。

You-Iスピリットの本質は日本語にある

外国人に自己紹介するとき、日本人は他国の文化を尊重し、名前、姓名の順で言います。さらに、「トウキョウ」を「Tokyo」、「オオサカ」を「Osaka」というように、地名には西洋的な表記(発音)を用いています。これらの行為は、"You-I spirit"に由来していると言えるでしょう。

「ユーアイ精神」とは、武士道でも見られる日本人の生活文化を表し、共存の象徴的なフレーズになることを願います。日本はこの精神で理想的国家を築いた実績があり、世界の手本になると信じています。その精神は、日本語学習の過程でより深く学ぶことができます。

出版情報

発行年：2024年10月

発行所：WACOY Promotion Committee (<https://wacoy.online>)

価格：無料（PDF版）

著者：長谷川勝行（日本文化の語り部）

■ 著者略歴

旅行会社でツアー・クリエイターとして働いた後、外国人向け日本を紹介する日英月刊マガジン「Hiragana Times」を創刊、元編集長。カリフォルニア州政府日本事務所代表、また、日本語団体の元理事長。

現在、WACOY Online（ボランティア団体）理事。

著書多数（主に日英バイリンガル）。中国語、韓国語、タイ語でも出版された「日本人の秘密」「日本人の法則」など。

※この冊子へのコメントをお待ちしております。下記へお送りください。

Email : kaysuyuki.h@wacoy.online

■ 著作権フリー

この小冊子はコピーライトフリーで提供されています。授業で使ったり、本や記事に引用したり、ご自由にお使いください。複数の題材を使用する場合は、著者名と書名を参考文献として明記してください。

■ 翻訳のお願い

このオリジナル冊子は英語と日本語で書かれました。もし、あなたがボランティアとして母国語への翻訳に興味を持ってくださるなら、この冊子を世界中の多くの人々に伝えたいので、私はこの上ない喜びです。

東京近郊での 1日ホームビジット プログラム



日本人の普通の生活を体験し、ホストと仲良くなれる



日常どんな買い物をしているのだろうか？



どんな家に住んでいるのだろうか？



この地域の見どころは？



あなたはこの経験から何を感じとるでしょうか？

<https://wacoy.online/homevisit-program/>



<https://wacoy.online>